

BITNETによる留学生支援システム

3Z-8

大家 清治 (*1)

中山 泰雄 (*2)

(*1 九州工業大学 情報科学センター)

(*2 九州工業大学 工学部 電気工学科)

1. はじめに

留学生への情報伝達の手段の一つとして、BBS (電子掲示板) システムの応用による留学生の支援システムの設定と運用を行ったので以下に報告する。

2. 留学生を取り巻く現状

近年になって、留学生の数は益々増える傾向にある。研究室に所属する留学生および研究生等は、学術的な相談や身辺の問題を相談できる環境をその所属する研究室に持っているが、同一のキャンパスに在学しながら、他の留学生との交流の場が少ない場合が多く見受けられる。この為に同国出身である先輩の留学生が持つ知識と経験が十分に活用されない場合が多い。又、最近増加しつつある学部1～3年に所属する留学生は明確な相談先や世話先を持たない場合が多く、このために母国語の違いによる情報の受信能力の不足や、習慣や慣習の違いによる戸惑い、異国での生活環境の違いによる不安、親身な相談先の不足などによって本来の学術知識の吸収という目的の達成に影響を及ぼしている。留学生担当窓口である学生課は留学生の生活の実態を十分に把握するには至っておらず、同時に、留学生は学生課からの掲示を母国語の違いから見過ごすことが多い。特に近年に急テンポで発展している高度専門化した情報技術に対応できる能力を修得させる目的で、コンピューター利用の入門教育が学部の教養課程の学生に施されているが、留学生のこの時点でのかみそりの例を多く見受ける。これらの問題の解決の為に、留学生への確実な情報伝達の手段が必要となった。

3. BITNETを利用した情報伝達システム

九州工業大学・戸畑キャンパスでは、IBMの4381-R23という汎用計算機システムに昭和63年4月に変更した。これに伴って、国際的な学術交換ネットワークであるBITNETと同年6月に接続し、メールの送受信の機能 (著作者: E. Alan Crosswell, Columbia University) を導入した。その後、グループ設定・管理機能と電子メールによる電子会議を可能にしたLISTSERV 機能 (著作権: Eric Thomas, Ecole Centrale de Paris) を翌年1月に導入し運用を開始した。平成元年4月にキャンパス内にBBS (電子掲示板) 機能を開発・導入した。今回の留学生支援システムは、このBBS機能を応用したものである。

4. 留学生支援システムの具体的な利用方法

LISTSERV のグループ登録機能を利用して、在籍する全ての留学生の登録番号を FOREIGN というグループ名で一括登録をした。同時に、留学生に自分のニックネームを決めてもらい、これをまとめて、各留学生のLOGON用IDに登録した。

留学生は学生番号に対応した登録番号を使いLOGONする。その後、BBSというコマンドを入力し、その後に表示さ

れるメニューを選択することで、FOREIGN という留学生専用のコミュニケーション用掲示板の内容を全て見ることができる。

留学生がこの FOREIGN に対して電子メールを送ると、すべてBBS (電子掲示板) に登録される。電子メールの送信の際に予め登録してある相手のニックネームを指定すると、相手のLOGON用ID上の郵便受けに電子メールが届けられ、これによって個人的な相談や情報交換も可能である。

```
>>> MAILBOOK <<< REVIEW FOREIGN NOTEBOOK E1
FROM: Kiyoharu OHIE      TO: BBS for FOREIGN      DATE: 7/09/89  夏休みの計画
ISC Engineer Kiyoharu BBS for FOREIGN  7/09/89  SUMMER TOUR PLAN
PETER LEE               BBS for FOREIGN  7/08/89  jikoshoukai
TAN KEOK CHOON          BBS for FOREIGN  7/08/89  RENRAKU
Jianqiang Yi            BBS for FOREIGN  7/08/89  jikoshoukai
ABDUL KAZAK BIN HAJ     BBS for FOREIGN  7/08/89  HELLO.....
ISC Engineer Kiyoharu BBS for FOREIGN  7/08/89  NO SUBJECT
ISC Professor Yasuo BBS for FOREIGN  7/06/89  NO SUBJECT
ROSLINI ISHAK           BBS for FOREIGN  6/19/89  RENRAKU
ZAHARAH MUHAMMAD        BBS for FOREIGN  6/17/89  ENQUETES
ISC Engineer Kiyoharu BBS for FOREIGN  6/16/89  new nick-name file
ISC Professor Yasuo BBS for FOREIGN  6/16/89  NEWS
JOEHARRY                BBS for FOREIGN  6/14/89  RENRAKU
GOUYA                   BBS for FOREIGN  6/06/89  RENRAKU
ISC Engineer Kiyoharu BBS for FOREIGN  6/05/89  Nick name file
PROFESSOR YASUO NAK BBS for FOREIGN  6/05/89  ENQUETES
ICHIMARU KYOKO          BBS for FOREIGN  5/18/89  jikoshoukai
PF1=HELP  PF3=QUIT  PF5=REPLY  PF7=SCROLLUP  PF9=SORT(UP)  PF11=PRINT
PF2=DELETE PF4=READ  PF6=FORWARD PF8=SCROLLDOWN PF10=SORT(DOWN) PF12=SELECT
```

(留学生用電子掲示板でのメール一覧表の表示画面)

5. 成果分析と課題

入門教育用のコンピューターの利用方法の指導も兼ねて、BBSの利用講習会を留学生対象に数回行い効果を上げた。漢字入力も好評を得ており、漢字の修得に効果をあげている。学生課からの通知は確実に全留学生に届いており、また、留学生担当教官への相談も増え確実に効果をあげている。留学生会会長からの企画案内もスムーズに伝達できた。このシステムを利用して、新入学の留学生は先輩の留学生にいつ何時でも相談できる。本学には現在、中国やマレーシア、フィリピン、インドネシア、タイ、台湾、ベトナム、パナマ、ガーナ、ユーゴスラビア、ブラジルなどから約60名の留学生が在籍しているが、これらの留学生の母国語による知識ベース及びオンライン・マニュアルを作成することで、留学生相互の交流促進と相談システムが構築できる。日本国内に在籍する同国出身の留学生との情報交換も可能である。同様に、母国の大学がBITNETと接続していれば、そこに在籍する友人といつでも情報交換ができる。これによって、留学生による本学への留学案内も実現可能である。

6. おわりに

“コンピュータは難しい”という留学生による従来の概念を取り除き、“コンピュータは情報伝達の効果的なツール”であることを彼らに理解してもらえた。今後もこの機能を拡張し、各国語による知識ベースの充実を図り、効果的な運用を行う予定である。

Support system for the foreign students by BITNET

Kiyoharu OHIE , Center for Information Science of Kyushu Institute of Technology
Yasuo NAKAYAMA , Electric Engineering of Kyushu Institute of Technology